



Ivanti® Asset Intelligence

Ivanti® Asset Intelligence は購入の瞬間から IT 資産の最適化を支援します。保有するハードウェア/ソフトウェア資産の検出とインベントリ、B2B コネクタによるベンダーデータの集約、およびソフトウェアライセンス使用状況のモニターにより、インテリジェントなビジネス意思決定を実現します。また、ユーザーと割り当てられたソフトウェアアプリケーションとのインタラクション方法を幅広い視野で提供し、ライセンスコンプライアンスを確保します。お客様は、必要な資産に対する適切な支出パターンを確立できるほか、未使用のライセンスの特定、回収によって無駄な支出を抑えられます。



回収によって IT 投資を最適化

ソフトウェアのモニタリングによって可視化を実現し、使用されている資産の内容、最終使用日時、および運用期間を明確に把握して適切な回収プロセスや回収ポリシーを決定します。組織のソフトウェアライセンスの最大活用に加え、ユーザーが正規ソフトウェアのライセンスを要求することを可能にします。無駄な支出は不要です。



ソフトウェアコンプライアンスを掌握

ソフトウェア監査はますます一般的になりつつあります。正しく購入、維持、またはライセンスされていないソフトウェアは、企業をライセンス違反のリスクにさらすことになります。また、違約金や予想外の調整コストが発生すれば、財源が枯渇することにもなりかねません。Ivanti Asset Intelligence は、現在のソフトウェアライセンス使用状況に対する詳細な洞察を提供し、より有利なライセンス取引の交渉、余分なライセンスの購入防止、不正購入の最小化、監査不合格に付随する罰金の回避を可能にします。



B2B コネクタによりベンダーに対する可視性のギャップを解消

スプレッドシートによる管理を排除し、発注番号、機器タイプ、新規資産を取得した瞬間からのロケーションマッピングといったメーカー、ベンダー、および再販業者のデータを集約する B2B コネクタにより、ベンダーに対する可視性を実現します。この情報は、Apple、Dell、HP、IBM、Lenovo、Lexmark、Verizon、CDW、En Pointe などのベンダー/再販業者のコネクタから自動的に収集されます。コネクタはこの他にも順次追加されています。



IT 環境の全体像の把握

IT 資産管理の第一歩は、保有する資産の内容を把握することです。Ivanti Asset Intelligence は、検出および追跡プロセスにより、プリンタや SNMP 機器を含め、インフラストラクチャに既存のソフトウェアおよびハードウェアを自動的に特定し、データを集約します。それにより、使用されている資産を突き止め、投資を最適化できる分野を把握することができます。保有資産に関する正確な情報が適時に得られるため、データに対する信頼度が高まり、情報に基づく意思決定が促進されます。



データ正規化により資産の命名を標準化

Ivanti Asset Intelligence は、収集した資産データおよび報告フィールドに標準の命名規則を自動的に適用する正規化およびルールエンジンを搭載しています。これにより、ベンダーの多様で複雑な命名体系に伴うレポート作成や管理上の悩みを解消します。

ホームページ：<http://www.ivanti.co.jp>
電話番号：03-5226-5960

メールアドレス：Contact-Japan@ivanti.com